

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	修正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	ProMED- mail20080102.0014	英国で1995年にvCJD1例目が認定されて以来、英国では162例のvCJD確定または疑い死亡症例があるが、これらは全てプリオンを作る遺伝子のMM変異を有していた。しかし最近報告された39歳女性の死亡例はvCJDと似ているが、同遺伝子のVV変異型を有していた。今までに見られなかった新しい狂牛病の可能性がある。
913	2008/02/21	70913	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国、台湾	有効成分	有	無	無	鳥インフルエンザ	ProMED- mail20071208.3967	中国 Jiangsu 省保健局は2007年12月2日に当局は Jiangsu 省で高病原性トリインフルエンザのヒト症例を確定したが、この患者(24歳男性)は多臓器不全で死亡したと発表した。家畜との接触歴はなかったが、発症の20日前にイヌに咬まれたとのことである。また、この患者の52歳の父親もH5N1トリインフルエンザと確定されたが、生存している。感染の原因は調査中である。
914	2008/02/21	70914	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	有	無	無	エボラ出血	Proc Natl Acad Sci USA 2007; 104: 17123-17127	2001-2008年にコンゴ共和国 Gabon で死亡した霊長類から分離したザイルエボラウイルスの糖蛋白質(GP)の遺伝子解析を行ったところ、従来の系統(グループAおよびR)とは異なる新規の系統(グループB)に属した。2003年および2005年にコンゴで発生したヒトでのアウトブレイクで得られたGPもグループBに属した。1996年と2001年の間に2系統の間で組換えが起こり、組換えウイルスがその後のアウトブレイクの原因となったと考えられた。
												エボラ出血	CDC Outbreak Notice 2008年1月 31日	CDとウガンダ国境を接するウガンダ西部の Bundibugyo 地方におけるエボラ出血熱について報告した。アウトブレイクは2007年8月には始まっていた可能性があり、2008年1月3日現在、148名が発症し、37名が死亡している。患者の検体を遺伝子解析したところ、従来の4つのエボラウイルス株とは異なる新規のウイルス株であることが明らかとなった。旅行者に患者との接触を避けるなど注意を呼びかけている。
915	2008/02/21	70915	アステラス製薬	ハミデプラーゼ(遺伝子組換え)	CHO細胞	チャイニーズ ハムスター卵 巣細胞	東京大学医 科学研究所 から入手し た細胞株	製造工程	無	無	無			